

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2. 招集について

- (1) 招集所は、北ゲート外側付近に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については次の通りである。
 - ① 招集開始時刻前に本人または代理人が第一招集スタートリストのレーン順(試技順)に○印を付け、トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取り、待機所で待ち、招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。
 - ③ アスリートビブス(ナンバーカード)・スパイクピン・商標の点検を受ける。
 - ④ 携帯電話等、競技規則144条3(b)に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
 - ⑤ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が競技者係に用意した「2種目同時出場届」に記入し、1種目の招集時に招集所へ提出する。
 - ⑥ 欠場する者は、「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻前に招集所に提出する。

3. アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) アスリートビブス(ナンバーカード)は、折り曲げないで、ユニフォームの胸と背に確実に(4ヶ所、2点止め)但し、跳躍競技の競技者は、胸部又は背部のみでよい。
- (2) 3000mの競技は、別アスリートビブス(ナンバーカード)を使用するので、競技開始時刻1時間前までに招集所へ受取りにくること。腰ナンバー標識を2枚取り付ける。

4. 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い退場する。

5. 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
 - ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③ 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
 - ④ 競技規則162条8により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
 - ⑤ スタート時の不適切行為は、注意(グリーンカード)とする。但し、繰り返し行った場合は警告(イエローカード)の対象とすることがある。2度目の「イエローカード」を提示されると、「レッドカード」が提示され、その種目の出場資格は失う。それ以後の種目は出場権は失わないが、受けた「イエローカード」の累積はリセットされず、3回目の「イエローカード」を受けた場合もその種目は失格となる。
 - ⑥ 男女100m、男女200m、女子100mHは予選・決勝を行う。それ以外の種目はタイムレースで行う。(但し男女100m、男女200mは、A決勝(予選ラウンド1～8位)、B決勝(予選ラウンド9～16位)で行う。)
 - ⑦ 800m競走は第2コーナーの終わりにマークされたブレイクラインまで各レーンを走る。競技者はこのブレイクラインから自分のレーンを離れることができる。
- (2) フィールド競技について
 - ① 跳躍の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が準備したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークル外側に使用することができる。
 - ② フィールド競技における競技場内での練習試技は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ③ フィールド競技はトップ8で行う。(走高跳、棒高跳を除く)
- (3) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。
- (4) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。

(ただし、天候等の状況により変更することもある)

種目	種別	練習	バーの上げ方					
走高跳	男子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以降3cmずつ上げる
	女子	1m30	1m35	1m40	1m45			以降3cmずつ上げる
棒高跳	男子	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50		以降5cmずつ上げる

7. フィールド競技の計測について

フィールド競技では、下記の表に達しなくとも最初の有効試技を計測する。以後の試技で、前試技の距離または下記の記録に達しない場合は計測しない。

走幅跳	男子	5m50	女子	4m50
砲丸投	男子	9m00	女子	9m00

8. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (3) 投てき競技の使用する器具は次の通りとする。

男子	砲丸重量	5.000kg
女子		2.721kg

- (4) ハードルの高さは次の通りとする。

男子	110mH	0.914m
女子	100mH	0.762m
高校男子	110mH	0.991m

9. 抗議について

発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内(アナウンス後15分以内)に、競技者自身または、代理人が担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて文書で申し出る。

10. 表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞者に記録証を授与する。

11. 一般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、大会総務に連絡する。
- (2) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 大会期間中の貴重品の保管は、各自・各チームで行う。盗難にあっても責任は負わない。
- (4) 記録はその都度発表するが、別に設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。
- (5) 記録証を希望する競技者は、500円を添えて申し込むこと。(庶務係まで)
- (6) 提出書類は次の通りとする。

【配布場所】

[招集所] ⇒ 欠場届・2種目同時出場届・アップライト申告書

[総務] ⇒ 上訴申立書(預託金1万円)

[庶務係] ⇒ 記録証明書交付願

提出するもの	提出場所	提出時刻
欠場届	招集所	招集開始時刻まで
2種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻まで
アップライト申告書	招集所	招集開始時刻に
上訴申立書(預託金1万円)	担当総務員	競技規則第146条7による
記録証明書交付願	庶務係	各競技終了後随時(500円を添える)

※ 本大会プログラム「JOC全国中学生陸上競技大会2020」の要項ならびに申込資格記録を参照のこと。

※ 日本陸連ホームページ「JOC全国高等学校陸上競技大会2020」の要項ならびに申込資格記録を参照のこと。

12. 練習会場の使用について

- (1) トラック競技・走幅跳の練習は、サブトラックを使用する。砲丸投と棒高跳・走高跳は施設用具の関係上、本競技場内で下記に定める時間に監督の付き添いの下に行うことができる。

	本競技場の開放	砲丸投ピット	補助競技場	棒高跳ピット
9/5(土)	7:30～9:00	7:30～9:00	7:30～13:00	7:30～9:00

- (2) 本競技場での練習は次の通りとする。

① 競走路使用は原則として以下の通りとする。

- ・1～2レーン：中・長距離
- ・3～4レーン：流し専用レーン
- ・5～8レーン：短距離(スタートダッシュはホームストレート地点)
- ・5～8レーン(ホームストレート)：100mH・110mH